



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月12日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 原 良太郎 TEL 042-750-8588
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	26,183	10.4	409	△25.8	524	△21.0	308	△52.7
2023年5月期第1四半期	23,726	12.0	551	279.1	663	129.7	651	180.9

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 382百万円 (△52.4%) 2023年5月期第1四半期 804百万円 (239.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	15.60	—
2023年5月期第1四半期	32.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	51,750	18,946	36.2
2023年5月期	50,213	19,057	37.6

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 18,721百万円 2023年5月期 18,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	4.1	2,600	0.8	3,000	△1.3	1,600	△42.2	80.95

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	20,547,413株	2023年5月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	783,239株	2023年5月期	783,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	19,764,174株	2023年5月期1Q	19,758,513株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、経営理念に基づく当社グループの事業活動を示すミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、リユースのリーディングカンパニーとして循環型社会の形成に貢献するとともに、全従業員が自信と情熱を持ち、安心して働き、成長できる会社になることを目指します。

当社グループは2028年5月期を最終年度とする中期経営方針において、グループの強みである人財育成やサステナビリティへの取り組みなどの普遍的な価値を土台とし、「深化領域」と位置付ける国内ブックオフ事業で、認知度の高さを活用して安定した収益を獲得するとともに、「探索領域」と位置付けるプレミアムサービス事業、海外事業や新たな事業に対して投資原資・ノウハウを投入し、経験豊富な人財の輩出によりグループの事業規模拡大と利益成長を進めていくことを決めました。

このような経営方針の下、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高26,183百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益409百万円（前年同四半期比25.8%減）、経常利益524百万円（前年同四半期比21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益308百万円（前年同四半期比52.7%減）となりました。

各事業において売上高が前年同四半期を上回ったことで、連結売上高は前年同四半期を上回った一方で、連結経常利益は、全社コストの増加などにより、前年同四半期を下回りました。また、前年同四半期における特殊要素（グループ再編に伴う税負担軽減）の剥落により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期を大きく下回りました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(国内ブックオフ事業)

当第1四半期連結累計期間において、BOOKOFF PLUS ヨシヅヤ新稲沢店を出店しました。

既存店においてトレーディングカード・ホビーの売上高が、前年同四半期を大幅に上回ったほか、アパレル、貴金属・時計・ブランドバッグ、ソフトメディア等の売上高も前年同四半期を上回ったことで、売上高23,201百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

一方で、商材構成比の変化に伴う売上総利益率の低下や、第2四半期以降の出店に対する開業費用が先行したこと等により、販売費及び一般管理費の増加が売上総利益の増加を上回り、セグメント利益799百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

(プレミアムサービス事業)

「hugall」の仕入在庫について相場状況に合わせて売却を進めたことや、「BOOKOFF総合買取窓口」、「aidect」の仕入高が前年同四半期を上回ったこと等で、売上高1,664百万円（前年同四半期比23.3%増）、セグメント利益114百万円（前年同四半期比59.9%増）となりました。

(海外事業)

アメリカ合衆国内の「BOOKOFF」、マレーシア国内の「Jalan Jalan Japan」とともに過年度の出店が寄与し、売上高が前年同四半期を上回ったことで、売上高1,057百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

一方で、今後の積極出店に向けた人員拡充や待遇改善等により、給与及び手当、パート・アルバイト給与等、販売費及び一般管理費の増加が売上総利益の増加を上回り、セグメント利益166百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は30,234百万円(前連結会計年度末は29,112百万円)となり、1,122百万円増加しました。店舗設備やIT投資等を実施するための資金として現金及び預金が1,121百万円増加したことが主な要因です。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は21,516百万円(前連結会計年度末は21,101百万円)となり、415百万円増加しました。投資その他の資産が71百万円減少した一方、店舗設備等へ積極的な投資等を実施したことにより有形固定資産が394百万円、ソフトウェア開発等により無形固定資産が92百万円増加したことが主な要因です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は32,804百万円(前連結会計年度末は31,155百万円)となり、1,649百万円増加しました。店舗設備やIT投資等の資金需要に対し銀行借入で対応したため借入金が増加したことが主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は18,946百万円(前連結会計年度末は19,057百万円)となり、111百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方、剰余金の配当を実施したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月10日に発表しました公表数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,544	6,665
売掛金	3,008	2,901
商品	17,612	17,701
その他	2,948	2,966
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,112	30,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,658	4,639
リース資産（純額）	2,703	2,986
その他（純額）	1,490	1,621
有形固定資産合計	8,852	9,246
無形固定資産		
ソフトウェア	382	357
ソフトウェア仮勘定	1,998	2,126
その他	63	51
無形固定資産合計	2,443	2,536
投資その他の資産		
差入保証金	7,296	7,307
その他	2,569	2,486
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,804	9,733
固定資産合計	21,101	21,516
資産合計	50,213	51,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	814	766
短期借入金	6,383	8,490
1年内返済予定の長期借入金	3,347	4,685
リース債務	654	683
未払法人税等	340	182
賞与引当金	644	327
店舗等閉鎖損失引当金	11	14
その他の引当金	189	172
その他	5,559	5,363
流動負債合計	17,945	20,685
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	7,341	6,011
資産除去債務	2,450	2,446
リース債務	2,191	2,442
その他	226	219
固定負債合計	13,210	12,119
負債合計	31,155	32,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,860	6,860
利益剰余金	12,322	12,137
自己株式	△591	△591
株主資本合計	18,691	18,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	72
為替換算調整勘定	109	143
その他の包括利益累計額合計	167	215
非支配株主持分	198	225
純資産合計	19,057	18,946
負債純資産合計	50,213	51,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	23,726	26,183
売上原価	9,988	11,470
売上総利益	13,738	14,713
販売費及び一般管理費	13,186	14,304
営業利益	551	409
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	33	33
古紙等リサイクル収入	57	65
その他	72	68
営業外収益合計	163	166
営業外費用		
支払利息	37	43
持分法による投資損失	1	2
その他	11	5
営業外費用合計	51	51
経常利益	663	524
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
投資有価証券売却損	2	—
店舗等閉鎖損失	0	—
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	56	6
固定資産除却損	5	5
減損損失	26	12
特別損失合計	92	24
税金等調整前四半期純利益	570	500
法人税、住民税及び事業税	128	76
法人税等調整額	△238	93
法人税等合計	△109	170
四半期純利益	680	330
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	651	308

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	680	330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	14
為替換算調整勘定	110	37
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△0
その他の包括利益合計	123	52
四半期包括利益	804	382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	765	356
非支配株主に係る四半期包括利益	38	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	21,308	1,350	911	23,570	156	23,726	—	23,726
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,308	1,350	911	23,570	156	23,726	—	23,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	5	117	123	△123	—
計	21,313	1,350	911	23,575	273	23,849	△123	23,726
セグメント利益又は セグメント損失(△)	836	71	174	1,082	△21	1,061	△398	663

(注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」店舗事業等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△398百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	23,201	1,664	1,057	25,923	259	26,183	—	26,183
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,201	1,664	1,057	25,923	259	26,183	—	26,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	—	4	156	161	△161	—
計	23,206	1,664	1,057	25,928	416	26,345	△161	26,183
セグメント利益又は セグメント損失(△)	799	114	166	1,080	△45	1,034	△510	524

(注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」店舗事業等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△510百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、グループのマネジメント体制の変更に伴い、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「国内ブックオフ事業」、「プレミアムサービス事業」及び「海外事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。